

Hayama Life Saving Club



◆ はじめに ◆



「葉山ライフセービングクラブ」は、1986年、葉山の地の海水浴場でボランティアの水難救助をするために創られた。

クラブの目的は大きく2つ。

一つ目は、「**水辺の悲しい事故を防ぎ、尊い命を守る。**」

事故ゼロを目指しクラブ員ひとりひとりが、地元の海を知り、高いレスキュー技術を有する優れたライフセーバーたるべきことを目指し、練習している。

二つ目は、「**地元葉山でのライフセービング活動の普及と実践**」

地元の人たちが日常生活の中で、自分たちの海を安全に・綺麗に・楽しくしようと考えることが、ライフセービングの原点。

葉山の海に集うみんなの目がライフセーバーとしての目となれば、海はもっと安全で楽しいところになるはず。

相模湾の中でもひととき美しい葉山の海で、私たちとともにライフセービング活動の普及と実践に、ひとりでも多くの人が集ってもらえることを望んでいる。



◆ クラブメンバーの声 ◆



加藤 智美

代表／監視業務統括責任者

全員ライフをモットーに葉山生まれ葉山育ちの私が、クラブ員が楽しく活動できる環境を提供していきます。



瀬沼 健一

副代表

「細く長く、無理なく楽しみながら生涯現役を目指します」



河内莉香子

事務局長

葉山は色々な人がいて、色々な素敵な場所がある魅力的な場所です。学生から社会人になっても葉山で過ごす夏が大好き。ぜひ、葉山に来てみてください。



金谷 保士

クラブメンバー 消防士

将来のライフセーバーの育成、地域社会への貢献のためにライフセービングの指導育成をしています。

◆ 2010 監視長 ◆



森 吉永
(神奈川大)



加藤大嗣
(中央大)



西本守人
(早稲田大)

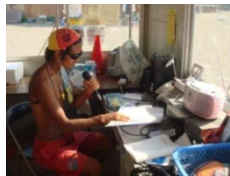
「あふれる大自然、贅沢な仲間、そして熱き思い！それが葉山。」
あなたに最高の夏をプレゼントすることを約束します！！

◆ 監視活動 ◆

7月8日、葉山町海水浴場の監視活動を行っています。

葉山町には、森戸、一色、大浜長者ヶ崎の海水浴場があります。この3浜での監視活動はもちろん、海岸美化保全活動など人命の監視活動だけでなく、美しい自然やそこから生まれる様々な出会いも守ります。

※ 監視活動はNPOと協働し実践しています。



異常なし。厳しく監視の目を光らせる。

一日の終わりのひと時。お疲れさまでした。



No Rescue! みんなの海。みんなの笑顔、僕らが守る!!



本日は良好!

◆ 救急対応 ◆

救急器材として、レスキューボードを各浜に3本、砂浜の一番広い森戸海岸には専用の監視タワーも設置しています。また、AEDやバックボード、バックバルブマスクなど最新、最先端のものをそろえています。

ライフガードとER (Emergency Rescue 救急救命士) の連携を強くし、救急車到着までの一次救命を行っています。現役の消防員、救急救命士も監視活動に参加しており、より高度な救命技術の実践と習得ができます。



レスキューは初動が大切。



大切なものを守るために



救命士の指示で適切な処置。

◆ 普及活動 ◆

海で遊ぶ時の注意などを、砂浜での海の学校のほか、地元の小学校のプールで子供たちに教えています。



着衣泳。みんな悪戦苦闘。

海について学ぶ。楽しいひとときのために。



～葉山の伝説のサーファー佐久間洋之介ファンフェスタ～で。レスキューのデモンストレーションや一次救命の講習などを行っています。



オーストラリアからプロのライフセーバーの来日。町の人との交流。プロの技も学んだ夏。

◆ 葉山海洋スポーツ塾 ◆

地元葉山の“NPO 法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター”と協力して、小学高学年、中学生、高校生のライフセービング指導を行っています。

葉山海洋スポーツ塾は、通年プログラムとして月に2回活動しています。これによって将来のライフセーバーの育成、地域社会への貢献を目指します。



初めてのレスキューボードに感動！



ビーチフラッグ。位置に着いて！



みんな見事キャッチ！



サーフィンにも挑戦！！



応急処置についても学びます。



◆ 地域活動 ◆

地元の方へライフセービング活動を理解してもらうために、環境保全に努めたり、町の催しなどに参加するなどさまざまな活動をしています。



海岸での盆踊り。安全パトロールを担当しながら、一緒に楽しみました。



神輿に参加。海のあの人も血が騒ぐ！



台風のと。時に自然は偉大。ただ無力…。みんなで力を出して海岸美化をしました。



葉山町の駅伝に出場。



◆ 体カ・スキルトレーニング ◆

海水浴場開設期間中は各海岸でのトレーニングを行い、オフシーズンは一色海岸を拠点に海で練習をしています。



夏のガードの後。ボード練習、CPRなど一次救命処置の練習。



冬の海。寒さに負けず夏に向けて。

日赤の講師を招き資格取得もおこないました。



パッチテストに向けて。

ラン・スイム・ポート。いつもの成果を発揮して。



レスキュー練習。陸で何度もシミュレーション。

9月には全日本ライフセービング選手権に出場しています。学生に限らず社会人も参加しています。



競技前。みんな緊張の時。



泳力、体力に自信がなくとも、自分にできるライフセービングがあるはず。まずは海でゴミを拾う。こんな何気ないことから始める。トレーニングしながら、スキルをあげて行きましょう。

◆ マリンスポーツトレーニング ◆

湘南葉山。さまざまなマリンスポーツのメッカ。プロのコーチ陣を迎え、色々なスポーツに挑戦します。色々なスポーツに挑戦することで公平な目で海岸の監視活動ができるよう心がけています。



サーフィンに挑戦！

潜らないとこの感動は伝えられない。



みんな Get Wave!

◆ 活動エリア・交通案内 ◆

神奈川県三浦郡葉山町の海を拠点に活動しています。どこからでも、美しい富士が眺められる自然豊かな海です。森戸海岸、一色海岸、大浜長者ヶ崎海岸の監視をおこないます。

森戸海岸



葉山の中で一番広い砂浜の森戸海岸。
遠浅で波を穏やかなので、多くのファミリーが訪れます。
ウィンドやヨットが盛んなことでも有名です。



一色海岸



山に囲まれた海岸は、プライベート感たっぷり。
御用邸のすぐ後ろに広がる美しい海岸です。
平成 13 年「日本の海水浴場 8 8 選」に選定



大浜・長者ヶ崎海岸



江ノ島、富士を眺める景色は、天下一品。
岩場も点在し、さまざまな生物との遭遇も楽しめます。
ダイヤモンド富士をみることもできます。



アクセス

JR横須賀線「逗子」駅または京浜急行線「新逗子」駅より京急バスでお越しください。

森戸海岸

逗子駅… 3 番 新逗子駅前… 2 番
“海岸回り” 「葉山 (逗 1 2)」 「葉山町福祉文化会館 (逗 1 1)」 行きで
「森戸海岸」下車

一色海岸

逗子駅… 3 番 新逗子駅… 2 番
“海岸回り” 「葉山 (逗 1 2)」 「葉山町福祉文化会館 (逗 1 1)」 行きで「一色海岸」下車

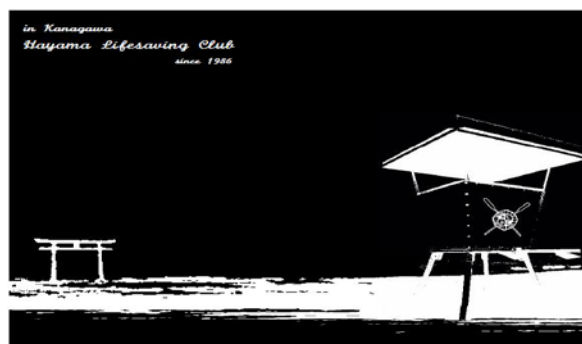
逗子駅前… 2 番 新逗子駅前… 1 番
“山手回り” 「長井 (逗 6)」 「大楠芦名口 (逗 4)」 「葉山 (逗 2)」 「横須賀市民病院 (逗 5)」 行き等で「葉山」下車

大浜・長者ヶ崎海岸

逗子駅前… 2 番 新逗子駅前… 1 番
“山手回り” 「長井 (逗 6)」 「大楠芦名口 (逗 4)」
「葉山 (逗 2)」
「横須賀市民病院 (逗 5)」 行き等で「長者ヶ崎」下車



夏のガードだけじゃない。いつだってみんな、みんな、仲間と葉山が好きだから。



葉山ライフセービングクラブ 公式ホームページ

www.namiya.com/hayama/

クラブ情報等を随時更新しています。みなさんの参加をお待ちしています。

お問い合わせ

Hlsc1986@yahoo.co.jp